

川崎市青少年育成連盟 (社)川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

理事長就任にあたり

理事長 吉井 勇



今回の理事会・評議委員会で木村理事長のあと理事長に就任いたしました子ども会連盟の吉井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

川崎市青少年育成連盟は昭和21年、戦後の動乱期に青少年の健全育成を目的に発足し、幾多の混乱をのり越え、今は日本ボーイスカウト川崎地区協議

会、ガールスカウト川崎市連絡会、川崎海洋少年団、(社)川崎市子ども会連盟の4団体で構成し、青少年の健全育成に努力しています。

活動は、中高校生リーダー研修、青少年国際交流事業の二つですが、そのほかに、川崎市の成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバルなどの事業を

お手伝いして、子ども達に多くの研修と体験の場を与えて、夢と希望をもって育ててほしいと願って活動をしてまいりました。

最近、少子化が進み青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。学校ではいじめによる事件、事故が多発し、大きな社会問題となっていますが、この問題は学校だけの責任ではなく、社会全体の責任でお互いに情報を共有し、事件事故を未然に防ぎたいものです。

4団体では今後も、団体生活、野外活動、環境美化活動を通して、子ども達に礼儀作法、自主性、情操教育等学びとってもらえるよう頑張っていきたいと考えていますので皆様のご協力をお願いいたします。

最後に4団体が協力して青少年の健全育成に努力していくことをお誓いしてご挨拶とします。

海っ子の祭典 in 東京

川崎海洋少年団 山岡 修

第52回日本海洋少年団全国大会を平成27年7月31日から8月2日まで東京の国立オリンピック記念青少年総合センター、東京海洋大学などを利用して開催しました。

海洋少年団員、指導員や関係者等で約1,000人が参加し、日頃の訓練の成果を競い合うとともに、友情のネットワークを広げる場として重要な大会となっています。

常日頃の訓練を試す競技として、手旗信号、ロープワークやカッターレースがあります。また、年少者が楽しみながら参加できる競技の基本動作やゴムボートレースなどを実施しました。今回の大会で初めてオープン競技として行われましたゴムボート親善競技を紹介いたします。

競技会場はレジャースポットでもあるお台場海

浜公園の第三台場前を利用して快晴の中行われました。団員5名、サポーター1名の計6名がひとチームとなり、50メートルで折り返す100メートルを漕ぐ競技となります。ライフジャケットを着て、パドルを持ち準備完了です。

スタートの合図で飛び出しますが、初めての漕ぐゴムボートは、バラバラに漕いでいてはなかなかうまく進むことができず、チーム5名の力を合わせてパドルを同じように動かし漕がなくてはゴールできません。応援の歓声も上がり、レースも盛り上がりました。

勝敗はともかくとして、年少の団員も楽しむことができたゴムボート親善競技は盛況のうちに閉会を迎えました。



スカウト交流 30 周年記念 第 24 回ボルチモア・川崎市 ボーイスカウト交流派遣団活動報告

ボーイスカウト川崎地区協議会 国際委員長 長谷川 博 之

昨年と今年を 30 周年記念行事と位置づけ、今年
は総勢 14 名の派遣団が 7 月 24 日から 8 月 7 日ま
での 2 週間にわたりボルチモア市を訪問し友好を
深めた。Welcome Party では市議会議長から今回
の 30 周年記念行事はボルチモア市議会で公式の行
事にすることが決議されているという報告もあり、
30 年の評価がなされていると感じた。

活動はアメリカ連盟・ボルチモア地区所有の日
本では考えられない広大な Broad Creek キャンプ
場（約 4 km 四方）での 1 週間の合同キャンプ、ボ
ルチモア市長への公式表敬訪問、ボルチモアオリ
オールズ戦においては開会式で名誉ある国旗儀礼
参加、そして 1 週間のホームステイ、すべてが参
加者にとって刺激のかつ感動に満ちた有意義な経
験となった。

この 30 年の歴史において約 350 人のスカウト
と指導者が太平洋を渡り、言葉と文化の違いを超
えて友情を育み、その中にはすでに国際社会で大
活躍しているメンバーもいる。

今年は日本で第 23 回世界ジャンボリーが開催さ
れたこともあり、昨年隊長で来日した Dan Young
氏は米国派遣団の隊長の一人として来日し、川崎

地区の世界ジャンボリー派遣隊とジャンボリー会
場で再会したというニュースも Facebook を通じ
我々が現地滞在中にもたらされ、今年は両国同時
に交流が深められたという特別な年にもなった。

最後に、この紙面をお借りし、今回の事業に多
大なるご支援をいただいた川崎市はじめとする関
係者の皆様へお礼申し上げます。



第 27 回 等々力緑地 親子写生会

中原区子ども会連合会 米 谷 ちあき

7 月 12 日、等々力緑地におきまして第 27
回中原区子連親子写生会が行われました。

当日は晴天に恵まれ（少々暑すぎでしたが）
総勢約 250 名の参加で楽しく親子で写生が
出来ました。等々力緑地では、神奈川県高校
野球大会、夕方から川崎フロンターレの試合、
テニスコートやサブグラウンド、等々カプー
ルも大変賑わっておりました。

写生会では皆さん熱心に取り組み、持ち帰
って夏休み中に完成させる子どもも多く、年
々素晴らしい作品が生まれています。毎年暑
い時期での行事ですが、皆さんご協力ありが
とうございました。



“考える”体験！ガールスカウトの夏

「お金について考えてみよう・プログラムに参加して」

ガールスカウト神奈川県第40団



7月5日、ガールスカウト川崎市連絡会では1年生から6年生までの子どもたちがガールスカウト日本連盟の金融プログラムで「お金について考えてみよう」に取り組みました。

ガールスカウト円（仮想通貨）を仮設の金融機関から引き出して、買い物するなどの体験を通して、日頃なにげなく使っているお金について様々な観点から学びました。

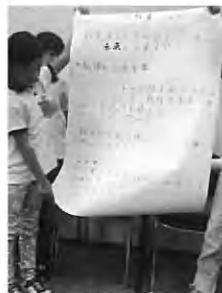


ジュニア 佐々木 捺 帆

実際に架空のお金を借り、買い物をしました。オークションのようなこともしました。最近買った物は、本当に必要なものだったのか等を考えたり、グループで話し合ったりして、お金の大切さを学びました。この活動を通して、私はお金の大切さを知りました。今回学んだことを色々な人に教えて、お金の大切さについて知ってもらいたいと思いました。

ジュニア 坂本 優 希

私が発見したことは、みんな、必要だからという訳だけではなく、欲しいというだけで物を買っていることが意外と多くびっくりしました。その時だけ欲しいのか、ずっと使うのかを考えてから買うようにした方がお金の節約になると思いました。オークションを行った時は、とりあえずどんどん値段を言っていたけど、実際はきちんと考えて値段を言わないといけなから大変だなと思いました。



「難民の人たちを知って」

ガールスカウト神奈川県第31団

ジュニア 大川 弥 空

難民とは、本国の危難を避けるため他国に逃れ移住する人たちのことを言います。しかし、日本では難民として認定されたのは、5千人のうち11人しかいません。私はそれにびっくりしました。

地雷というものがあります。地雷とは、地中や地表に設置されて人や車が通ったり近付いたり、触れたりすると爆発するように設計された爆弾類です。対人地雷は、通常5～10kgの圧力で爆発します。子どもでも踏んでしまうと爆発してしまうと思うと、私はとてもこわいと思いました。

難民のことを知って、難民の人たちは私たちを必要としていると思うので、募金活動などで協力したいなと思いました。

難民の人たちに、幸せに暮らしてほしいと私は強く願っています。

川崎地区のガールスカウトが集まって、8月29日に平成27年度「ガールスカウトギャザリング」がありました。

今年のテーマは“一緒にならこの世界を変えられる”で、サブテーマは～難民について知ろう～でした。

午前中にAARJapan（難民を助ける会）の太田夢香さんの講義を聞きました。午後にはパトロール（班）にわかれて話し合いをして、それをまとめて発表もしました。

なんでも挑戦隊！ピース✌

宮前区子ども会連合会 澤井純子

子どもには限りない可能性があります。そして夢を持って生きることが素敵な未来へとつながっていきます。宮前支部子ども会では、そんな未来ある子ども達に少しでもお手伝いが出来ればと考え平成23年度から“なんでも挑戦隊！ピース✌”を企画しました。今年で4年目となるこの企画、初年度は学年問わず募集をかけたところ約90名の希望があったため、4年生以上を対象とし30数名で行いました。それから毎年4年生以上、30名の定員で行っております。

この企画は年間を通して幾つかのプログラムを体験します。今年は理科実験、料理実習、茶道・陶芸（文化体験）、英会話・ジャックランタンづくり（異文化体験）など。この中には、自分が好きなもの、初めて見るもの聞くもの、苦手意識のあるものなどいろいろあると思いますが、これらすべてを体験しなければなりません。やりもせず見ただけで「これ、いやだ…」「大変そう…」「面

倒くさそう…」と勝手に判断してやらないことは持っている可能性の芽を自分で潰していることになります。何でもやってみなければ分からないのです。もしかしたら、案外好きなことだったと気づくかもしれません。これがきっかけでその道のプロになることだってあるかもしれません。出来栄云々よりも、それに臨む姿勢が大事です。

実施してみても意外だったのは、茶道が楽しかったという子どもが多かったということ。テレビやゲーム機など、賑やかで激しく変化する画面を楽しむ、慣れ親しんでいる子ども達が、空気の音が聞こえそうなその静寂を楽しい、と感じたことには驚かされました。それこそ新たな発見でした。

なんでも挑戦する心、挑戦隊！意外な自分発見とすべての企画を体験した達成感で“ピース✌”。ここで得たことを大切に、いつまでも夢と希望を持った子ども達でいて欲しいです。



がほちゃと格闘中！



足がしびれていませんか？

好きな茶碗に
好きな皿、
好きな色が
出まように！



ジャックランタンって
本当はこども
こわいお話です。

川崎市立学校インターネット問題相談窓口（ネットの悩み相談しよう！）

子どもたちを取り巻くインターネット問題のトラブルについて、相談に応じています。

電話相談 044-844-3638

受付：平日 8:30~12:00 12:45~18:00 18:45~20:15

PCメール <http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000027223.html>

携帯メール https://sc.city.kawasaki.jp/multiform/k/multiform.php?form_id=74

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館（てくのかわさき）3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社